

2025年3月期第1四半期 決算概要

2024年8月8日
宝ホールディングス株式会社

1. 実績サマリー
2. 宝ホールディングス（連結）業績
3. 事業別 業績
4. 宝酒造 業績
5. 宝酒造 営業利益増減分析
6. 宝酒造インターナショナルグループ 主要子会社業績
7. 宝酒造インターナショナルグループ 営業利益増減分析

1.2025年3月期 第1四半期 実績サマリー

・ グループ連結

連結売上高は、前期比プラス4.2%、連結営業利益は、前期比マイナス42.8%、連結経常利益は前期比マイナス37.8%となりました。また、投資有価証券や固定資産の売却による特別利益が24億9,500万円、固定資産の除却などによる特別損失を5,900万円計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期比プラス4.1%となりました。

・ 宝酒造

売上高は、前期比マイナス5.0%の減収となりました。品種別では本みりん、その他調味料は増加したものの、それ以外の品種は減少しました。品種別での主な減少要因ですが、焼酎は、カテゴリー全体の縮小傾向や、梅の不作による果実酒用焼酎の販売の減少があり、清酒は、大容量紙パックが市場全体の縮小傾向により減少しました。ソフトアルコール飲料については、前期第1四半期で発売した限定品を当期は第2四半期以降で発売する計画であり、原料用アルコール等は、消毒用アルコール需要の減少などがありました。営業利益は、売上高の減少、原料米や容包品のコストアップ、為替の影響により売上総利益が減少し、広告宣伝費などが増加したことで、前期比マイナス41.5%の減益となりました。

1.2025年3月期 第1四半期 実績サマリー

・ 宝酒造インターナショナルグループ

売上高は、前期比プラス15.5%となりました。海外酒類事業は、バーボンウイスキーを販売するアメリカのエイジ・インターナショナル社が好調に推移し、海外日本食材卸事業は、足元ではインフレによる、料飲店市場における消費の鈍化が見られるものの、海外での日本食の広がりを背景にアメリカのミューチャルトレーディング社、イギリスのタザキフーズ社、オーストラリアのニッポンフード社が好調に推移したことに加え、M&Aや為替の影響もあり増収となりました。

営業利益は、売上高の増加により売上総利益が増加し、人件費の増加などによる販管費の増加を吸収し、前期比プラス2.7%の増益となりました。

・ タカラバイオグループ

売上高は、新型コロナウイルス関連製品の販売減少、ライフサイエンス研究市場の低迷などにより、前期比マイナス7.4%となりました。

営業利益は、相対的に利益率の高い検査関連試薬の減収や売上構成の変化の影響などにより、16億3,400万円の営業損失となりました。

2.2025年3月期 第1四半期 宝ホールディングス（連結） 業績

	2025年3月期 第1四半期 実績	前期比 (%)	(百万円)
売上高	84,956	+4.2	
売上総利益	27,360	▲2.4	
営業利益	4,064	▲42.8	
経常利益	4,791	▲37.8	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	5,170	+4.1	
	2025年3月期 第1四半期 実績	2024年3月期 第1四半期 実績	
海外売上高比率 (タカラバイオグループ除く)	58.0% (56.2%)	53.0% (51.4%)	

3.2025年3月期 第1四半期 事業別 業績

(百万円)

		2025年3月期 第1四半期 実績	前期からの 増減	前期比 (%)
宝酒造	売上高	30,170	▲1,603	▲5.0
	売上総利益	7,629	▲754	▲9.0
	営業利益	1,519	▲1,076	▲41.5
宝酒造 インターナ ショナルグ ループ	売上高	43,220	+5,788	+15.5
	売上総利益	14,326	+2,122	+17.4
	営業利益	3,683	+95	+2.7
タカラバイオ グループ	売上高	8,493	▲682	▲7.4
	売上総利益	4,353	▲2,139	▲32.9
	営業利益	▲1,634	▲2,057	—

4.2025年3月期 第1四半期 宝酒造 業績

(百万円)

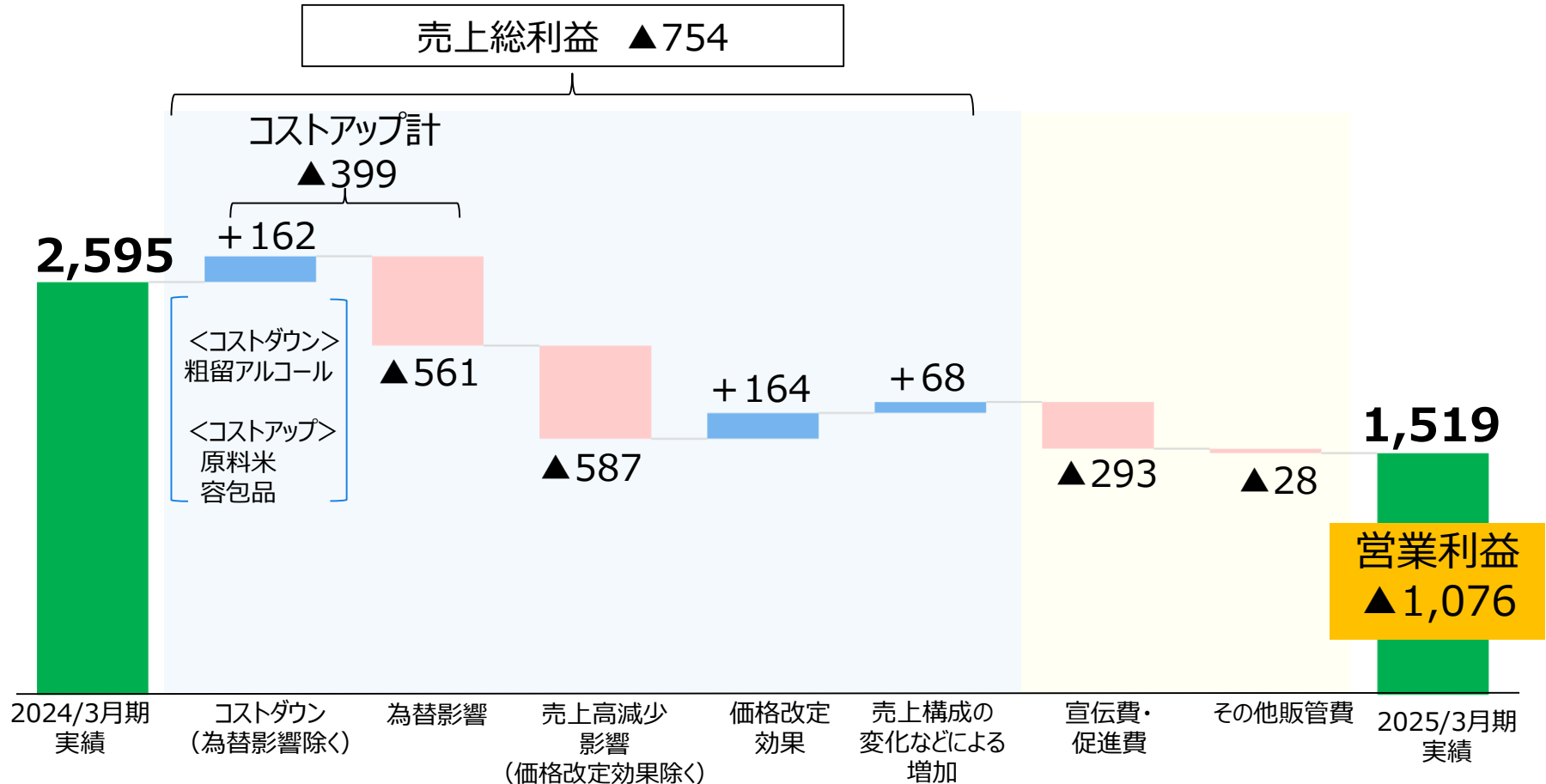
		2025年3月期 第1四半期 実績	前期比 (%)
	焼酎	8,722	▲9.3
	清酒	2,122	▲7.4
	ソフトアルコール飲料	10,490	▲1.8
	その他酒類	1,421	▲4.4
	本みりん	2,408	+3.4
	その他調味料	2,280	+2.9
	原料用アルコール等	2,724	▲13.6
売上高	30,170	▲5.0	
売上総利益	7,629	▲9.0	
営業利益	1,519	▲41.5	

5.2025年3月期 第1四半期 宝酒造 営業利益増減分析 <対前期>

売上高の減少や為替影響を含むコストアップによる売上総利益の減少を、価格改定効果などで補えず売上総利益が減少し、加えて広告宣伝費などが増加し、減益

◇対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)

(百万円)



6.2025年3月期 第1四半期 宝酒造インターナショナルグループ 主要子会社業績

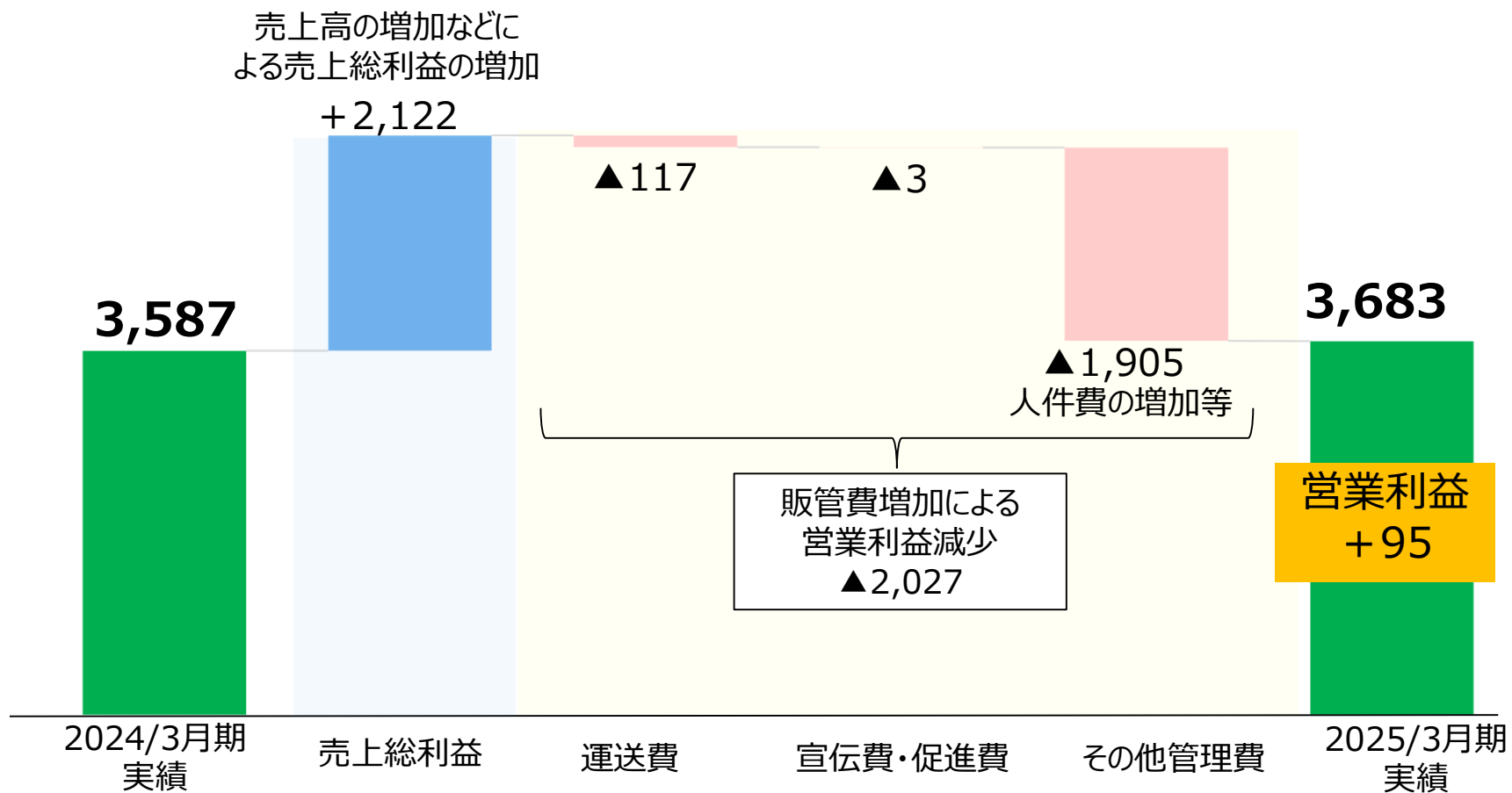
			2024年3月期 第1四半期 実績		2025年3月期 第1四半期 実績	
			売上高	営業利益	売上高	営業利益
海外酒類事業	米国宝酒造	千USDドル	11,792	956	12,011	1,510
		百万円	1,561	126	1,785	224
	宝酒造食品（中国）	千元	12,629	▲ 577	10,209	▲ 688
		百万円	244	▲ 11	210	▲ 14
	トマーチン（英国）	千ポンド	7,968	2,723	5,980	2,316
		百万円	1,282	438	1,127	436
	IIG・インターナショナル（米国）	千USDドル	12,299	5,428	15,132	6,677
		百万円	1,628	718	2,248	992
海外日本食材卸事業	フーデックス7社連結（欧州）	千ユーロ	44,348	2,369	43,306	2,665
		百万円	6,303	336	6,986	430
	コミンポート連結（欧州）	千ユーロ	23,072	2,704	22,392	2,632
		百万円	3,279	384	3,612	424
	タザキフーズ（英国）	千ポンド	19,043	1,103	19,510	1,906
		百万円	3,064	177	3,677	359
	ミューチャルトレーディング（米国）	千USDドル	140,371	9,880	147,670	8,002
		百万円	18,585	1,308	21,946	1,189
	ニッポンフード（豪州）	千AUSDドル	15,835	1,048	16,900	1,060
		百万円	1,434	94	1,650	103
東京共同貿易	百万円	3,310	169	4,024	192	

7.2025年3月期 第1四半期 宝酒造インターナショナルグループ 営業利益増減分析 <対前期>

売上高の増加により売上総利益が増加したことで、人件費の増加などによる販管費の増加を補い、増益

◇対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)

(百万円)



将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ先＞

宝ホールディングス株式会社

広報・IR部

E-Mail ir@takara.co.jp

TEL 075-241-5124